

シルバー千歳

第 74 号
公益社団法人
千歳市シルバー
人材センター

066-0047 千歳市本町3丁目11番地
☎(0123)26-2277
FAX(0123)26-1228
HP <https://webc.sjc.ne.jp/chitose/>



お色直した山線鉄橋 (提供：第15班 廣森 清茂 会員)

謹 賀 新 年

本年も宜しくお祝い申し上げます

理 事 長 牧野 敏彦

副理事長 紺谷 基次

常務理事 政岡 孝明

理 事 二瓶 幸雄

元谷 松夫

鈴木 隆夫

監 事 山口 頼彦

泉野 一正

柴田 博夫

大和 隆之

高井 博史

加來 博

熊谷 邦子

蒲生田雄司

奥山 佳子





理事長 牧野敏彦

千歳市長 山口幸太郎

新年あけましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、ご家族共々ご健勝にて新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、市民の皆様をはじめ企業そして行政などの関係機関の皆様には昨年のご厚情に対し深く感謝を申し上げます。

さて、昨年は新型コロナウイルス感染症拡大の影響が続く中、まん延防止等重点措置が解除され、社会経済、観光産業などが少しずつ動き出すなど、日本という国がウィズコロナの社会を目指す方向へ舵を切った年でもありました。

そのような状況の中、センター運営におきましては、会員数は横ばいが続いておりますが、事業量は一時の落ち込みから徐々に回復傾向にあります。また、感染防止のため縮小して開催しておりました定時総会も3年振りに北ガス文化ホールで開催するとともに、シルバー事業の普及啓発活動の一環でもありますシルバー展を一日感謝祭として、会員の皆様との重要な意見交換の場でもある地域合同班会議なども再開したところであります。

しかしながら、年末に新規感染者が再び増加傾向に転じ、新たな株も発生するなど、将来の予測がつかない状況となっております。国ではワクチン接種の推進をはじめとしたさまざまな対応を行っているところであり、一日も早い収束を願っております。

本年は、消費税の適格請求書等保存方式、いわゆるインボイス制度が10月1日から施行されることになっており、センター運営において非常に厳しい状況が待ち受けておりますが、会員の皆様をはじめとする高齢者が生きがいのある健やかな人生を送るため、役員並びに職員が一丸となって事業に取り組んでまいりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

結びになりますが、皆様のご健勝とご発展を心から祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

明けましておめでとうございます。

千歳市シルバー人材センターの会員並びに役員の皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。また、貴センターの各種事業を通じ、地域社会の発展のためにご尽力いただいておりますことに、深く敬意を表するところであります。

さて、今日では少子高齢化や労働人口の減少が急速に進む中、高齢者が「生涯現役」として多様な形で社会参加することが求められております。このような中、活力ある高齢化社会を支える地域の組織として、シルバー人材センターの担う役割は一層重要なものとなっているところであります。

このような状況のもと、シルバー人材センターにおかれましては、会員の皆様に対し、地域社会と密着した就業機会を確保・提供することにより、地域の労働力別出に寄与されるとともに、地域活動、ボランティア活動、環境美化などを通じて、高齢者の生きがいの充実や社会参加の促進、地域社会の活性化にも幅広く貢献され、「生涯現役社会」の実現に向けて、大きな役割を果たされております。本年も、会員の皆様が高年培ってこられた技術や経験を活かしながら、一丸となって様々な事業の推進が図られ、更なる「就業機会の拡大」や「会員の拡大」へと結び付きますことを期待しております。

現在、新型コロナウイルス感染症の長期化及び世界情勢の変化に伴う物価の高騰などにより、社会経済等は依然として厳しい状況が続いております。本市といたしましても、感染拡大防止に万全を期すとともに、高齢者の皆様が健やかに生き生きと暮らせる社会の形成に向け、各種取組を進めてまいりますので、皆様の変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びとなりますが、千歳市シルバー人材センターのますますのご発展と、皆様のご多幸を心から祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

2023年 令和5年 年男・年女は



対象者は昭和14年生まれ(1939年)と 昭和26年生まれ(1951年)となります。

- 1 班 廣谷 紀子 (昭和26年)
- 3 班 桑島 静恵 稲村 敏雄 谷田 明美 前田 健治 (昭和26年)
- 4 班 野村 則夫 西森 貞仁 山田 正博 池田 和廣 (昭和26年)
- 5 班 今野 敬子 十亀 房教 (昭和14年)
- 山田恵美子 小笠原文精 鐵原 透 木村 成子 (昭和26年)
- 6 A班 常田由美子 (昭和26年)
- 6 B班 小山田 隆 (昭和26年)
- 8 班 袴田 のり 田村 優子 高橋 信利 泉井智恵子 (昭和26年)
- 9 A班 小泉とみ子 増澤カズ子 (昭和14年) 幅岸 和佳 石塚 孝司 (昭和26年)
- 9 B班 嶋田 君子 (昭和26年)
- 11 班 谷口 継雄 村上 敬司 (昭和26年)
- 12 班 後藤田格布 (昭和14年) 葛西よし子 福元 幹男 大橋留美子 (昭和26年)
- 13 班 石羽澤美恵子 (昭和26年)
- 14 班 高坂 常治 (昭和14年) 高橋 延安 (昭和26年)
- 15 班 廣森 清茂 野口満州男 (昭和14年) 川崎 修 (昭和26年)
- 16 班 原口 恒喜 須見 拓生 (昭和14年)



昭和14年生まれ **10**名

昭和26年生まれ **29**名

卯年を迎えて



『72歳の年男を迎えて』

9 A班 幅 岸 和 佳

シルバー人材センター様から年男としてのレポート投稿をお願いしたいとの依頼があり、初めて節目に気が付いた次第です。

年男が縁起が良いと言われる理由は一般的に、ご加護をより多く受けられるという考えだそうです。我が人生を振り返ってみますと5年間の定年延長を望まず8度の転勤族生活を60歳で終えて定年退職し千歳に不時着しました。3年後には暇を持って余し、シルバー人材センター様の存在を知りお世話になっている次第です。現在は広報・市民カレンダー等それぞれ500部程度の配布業務をこなしています。

あっという間の時間でしたが健康的に仕事ができ感謝しています。72歳の年男の人生を迎え悔いのないよう考えて行動する1年にしたいと思います。

2020年1月から道内新型コロナウイルスが確認されてから100万人に達しました。

皆様と共にコロナ対策に十分配慮し負けずに頑張りましょう！



三途の川は渡れず 今も元気で生きている

15班 廣 森 清 茂

皆さん明けましておめでとうございます。清々しい新年をお迎えの事とお慶び申し上げます。

今年7回目の年男に成りました。良くこんな年まで長生きしたもんだと自分ながら驚いております。と、言うのは遠い昔にさかのぼりますが、生れは南国宮崎都城市の片田舎農村地帯の農家二男として産声を上げ、6歳の時のお話です。

当時まだ戦争中昭和19年の頃、夏、夕食時大勢で食卓を囲み、父が前の年作った甘酒が「濁酒」に変化しつつの甘酒を皆に振る舞い美味しく頂いた。

あまりの美味しさに、お代わりをねだり、父いわく、子供のくせに二杯目はくれなかった。食事が終わり濁酒を、子供の手の届かない棚の高い所にしまい、翌朝父母達は農作業に出かけた。そのすきに6歳の僕が足継ぎを重ね、濁酒に近い甘酒を腹いっぱい飲み、居間に倒れ唸っていたそうです。(今で言うアルコール中毒)

父母が畑から帰り、僕の様態にびっくり、直ちに医者呼んで、飲んだ物を吐かせ様態を見守ってくれたそうです。気が付いて目が覚めると、そばに母がいた。今、夕方か?聞くと、朝だよと答える。

その苦しんでいる時でしょう、夢を見ました。三途の川とも知らず、こんな夢を見た和父母に話すと、それは、三途の川というもんだと教えてくれた。

岩のごつごつした高い山の所にきれいな花畑が一面に有り川が流れ赤いきれいな太鼓橋が有りその向こう岸に天女が空高く何人もの人が舞い上がりこちら岸に向かいこっち来い、こっち来い、と手招きしている。

行こうか、行くまいか迷っている素振りをしていたんでしょうね。そこで父母が僕の名前を呼んで、清茂・清茂行くな、行くな、大きな声で呼んでいる声に目が覚めた。

こんな死にかけた清茂を生んでくれて有難う。父母は今、空の星になって見守ってくれています。

学校を卒業、昭和33年自衛隊入隊・退官、弘済会、温泉勤務、70歳～友人にスカウトされて、シルバー人材センターにお世話に成り草取り班で働いております。

クラブはカラオケ会に入り、コロナで中止も有りますが、月に一度のカラオケを何よりも楽しみにしております。健康で働けるうちは宜しくお願い致します。





入会し、女性の一人として

12班 葛西 よし子

2015年9月に会員になりまして、2017年に東雲会館にて管理人としての仕事をしております。

管理、貸館業務の他に、コロナウイルス感染拡大の影響により、検温、マスク着用、手洗い、アルコール消毒、3密、大声を避ける等の感染予防対策、手を触れる箇所の、清掃・消毒・施設内の換気など、思いもよらぬ展開でした。諸先輩方々の的確なご指導と優しい対応に、頑張ることが出来ました。

2021年4月から遺跡パークゴルフ場を紹介して頂き、自分自身パークゴルフの経験が無いので、細かいことから、すべて教えて頂き、有難く思っております。

冬季は、一時閉鎖する為、2023年4月からまた、パークゴルフ場での仕事をさせていただきます。

パークゴルフ場を利用されている方々は、健康的に明るく楽しまれていて、こちらが元気と優しいお言葉を頂戴しております。

卯年も健康で楽しく働けることを願っております。



シルバー人材センターに入会して

5班 今野 敬子

シルバーに入会して17年を迎えました。

私は、緑町を担当して「広報」「市民カレンダー」を配達しております。初めの頃は配布が少なかったのですが、今では倍以上になり部数も多くなりました。

市の子ども支援で、3歳未満のご家庭に、ゴミ袋の配達をした時は、お母さま達から大変喜ばれ私まで嬉しさいっぱいのお仕事でした。子ども達に折り紙でおった、花ゴマなどをプレゼントすると、子ども達は目を輝かせ、くるくる回して喜んでいます。今ではなつかしい思い出になりました。

花つみのお仕事は私にとって最高でした。いつもひとり仕事の私ですが、大勢の仲間とスイートピーの花の香りを頂き乍ら、笑いながら楽しく働くことができとても幸せです。

転勤で来た方で、出産の為、上のお子さんの保育を引き受けた時は、長期で千歳にいられないとのお話だったので、千歳のいい所を見せてほしいと言われ、青葉公園やサケのふるさと館などを何度も行き楽しみましたら、とても気に入ってくれました。千歳で生まれた子どもさんは、僕のふるさと千歳だと言って数年後に遊びに来てくれました。あれから14年子ども達の成長を楽しませて頂きご一家とのご縁は、私の宝です。

今年で7回目の年女を迎えます。シルバーで沢山のステキなご縁を頂いてお世話になっている皆様に心より感謝申し上げます。

これからもシルバー人材センターの益々のご繁栄と皆様のご健康をお祈りいたします。



「年男」を迎えて

3班 稲村 敏雄

70才を迎えてこれまでの会社勤務等を終えましたが、思い出に残るのはプライベートな事ばかりです。

その中でも特筆すべきことは、35歳で挑戦したフルマラソンです。きっかけはローカルの大会でしたがかなりの年配の方が挑戦しているのを見て私も走れるかと思い大会にエントリーして見事完走。

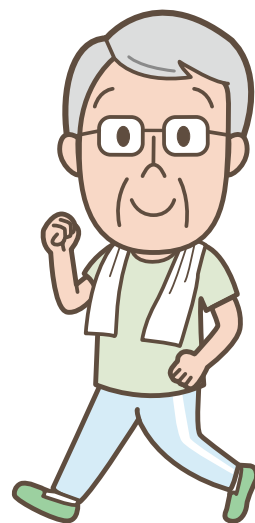
次には、39歳で挑戦した走行距離50kmのクロスカントリースキー大会でした。これまで参加した大会の中では踵まで浸かって走った雨中のマラソン大会や、吹雪で先も見えない中走り続けたクロスカントリースキー大会もありましたが、どの大会にもリタイヤすることなく完走できたことは「やると決めたら途中で投げ出さない、どんな困難にも負けないぞ」といった仕事では感じられない充実感でした。

平成6年頃からは、町内活動に加わり現在も千歳市の青少年育成活動に参加し、後継者不足に悩みながらも子ども達が元気に活動している姿を見て喜びを感じております。仕事を終えた後どのようにすべきかと考えていたところ、近所の先輩から「シルバー人材センターでは、いろいろな仕事を紹介してくれるよ」とのアドバイスを頂き、昨年1月加入登録いたしました。

その後清掃作業を紹介され、4月より諸先輩のご指導を頂き清掃の仕事に従事させて頂いております。

健康には自信をもっておりましたが、最近「前かがみになって歩いているけど腰でも悪いのかな？」と言われ唖然としました。健康には自信をもっていたのですが、知らず知らずに老いが迫っていたのかと思い、休日には1時間程度のウォーキングに努め「胸張って胸張って」と自分自身に叱咤激励し頑張っ取り組んでおります。

私の仲間にも体調を崩し勤務が継続出来なくなった方も居られます。今後も健康維持管理に努め他の職員の方々と協力し、シルバー人材センターの活動発展に尽力したいと考えております。



会員のひろば



パークゴルフを通じて

8班 芳賀 章

パークゴルフ場の受付の仕事をさせていただき昨年で2年目のシーズンを終えた。

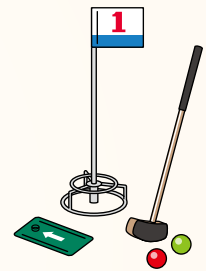
振り返ると一昨年はコロナ禍で閉鎖の期間があったが、昨シーズンは休むことなくオープン出来たことに安堵したのは記憶に新しい。

やっと仕事にも慣れる中、笑顔で「楽しかった」「ありがとう」の言葉を頂くとたびに仕事のやりがいを感じた日々であった。

来場者は老若男女様々であるが、パークゴルフの目的を何うと健康増進や友人との交流などが多く、その形はスコアを競う方や楽しい時間を過ごす方、また町内会活動やサークルの行事など様々であり、パークゴルフ場の果たす役割の大きさを感じたところである。

静寂に響く「カキーン、カキーン」、時折聞こえる笑い声、この場所は正に「自然の中の社交場」なのかも知れない。

クローズの時期が近づくにつれ、冬の間はどうしようか運動不足が心配との声も聞こえてきたが、何とか厳しい冬を乗り切って今年も元気な姿でパークゴルフを楽しんでいただきたい。



ふるさと(故郷)への思い

14班 塩屋 十三

「ふるさとは遠きにありて思ふもの そしてかなしくうたふもの」室生犀星の有名な詩句である。この詩句は、故郷への郷愁を綴ったものではなく故郷を捨てた反抗心に包まれたものとの解釈もある。故郷への複雑な思いは人それぞれに異なるのが当然かも知れない。

16才の春、宮崎県の片田舎から神奈川県にある学校に入校するため、母親に連れられ、夜行列車で故郷を後にした私にとって故郷は人生の心のよりどころであった。入校当初は厳しい学校での団体生活に馴染めず夜ひとり涙しながら故郷に帰りたと思う日もあった。それが年を重ねるにつれ、いつしか仕事重視の日々となり故郷を思うことが少なくなった。

三度目の北海道勤務となり、永住の地として選んだ千歳で定年退職を迎えた頃、宮崎県人会千歳フェニックス会長に選出された。このことが、心の奥にはあるものの疎遠になっていた故郷と私の繋がりを濃くした。故郷宮崎と遠く離れた北の大地で年を重ね喜寿を迎えた私にとって故郷は常に懐かしく永遠に大切にしたい心のよりどころである。



シルバー勤務は素晴らしい！

5班 藤井 宏

お早うございます。5班班長を仰せつかっております藤井です。公民館勤務4年です。趣味はジョギング・水泳・野菜作りです。

70代で仕事出来るのは素晴らしいですね。勤務は週に3日程ですが、まだまだ領収証の書き方とか、LINEの使い方とか勉強もあり楽しく・緊張しています。趣味は野菜作り、ジャガイモ・トマト・豆類・大根・ヤーコン等作っています。まだまだ未熟ですが、温暖化で千歳は穀倉地帯になっています。沢山取れたら近所や職場・老人会・町内会・民生委員の皆さんにお裾分けです。

毎朝元気な近所の自衛隊OBとスポーツセンターでラジオ体操・参拝・緑小の子ども見守りをやっています。

朝走り夕方水泳やって体調維持です。そして風呂・サウナ上がりにセコマのスコッチハイボールでワールドカップ応援です。

シルバーには、80代でも楽しく仕事している人・走っている人もいますね！続けて福島の桜見に、故郷の長崎ちゃんぽん目標です。

センターの活動紹介

第30回シルバー展（一日感謝祭）を3年ぶりに開催しました

新型コロナの影響により2年間開催を見送ってきたシルバー展を9月1日、一日感謝祭として開催しました。焼きそば露店、包丁研ぎ、しゃぼん玉遊び、野菜販売コーナーなどを行い、千歳神社例大祭が開催されていたこともあって、400名以上の方が訪れてくれました。来年はコロナが収束して賑やかなシルバー展が開催できることを願っています。



女性部交流会を開催しました

10月19日、センター2階研修室で女性部たんぽぽの会 第1回交流会を開催しました。講座のテーマは「睡眠と健康の知恵袋」で、良い睡眠を取るための正しい知識について解説されていました。

参加者は18名で、講座終了後、血管年齢測定や自律神経測定などのサービスもあり、大変好評でした。





シルバー川柳

※シルバー千歳への掲載作品等を随時募集しています。

接種すみ コロナとインフル いざ、勝負 川島 勉 (第9B班)

夫婦にも 心の換気 気づかされ 吉田 繁基 (第10班)

誰だっけ マスク顔より 背格好 熊 利幸 (第15班)

今年また 仕事たのまれ ありがとら 加藤 良一 (第16班)

方言で ふところ狙う 新手口 齋藤 茂 (第16班)

腐葉土づくりのための 落ち葉拾いを行いました

11月8日と9日の2日間、当センターの独自事業である腐葉土づくりのための落ち葉拾いを青葉公園ピクニック広場で行いました。今年はボランティアの会員の皆さんが65名参加していただきました。

ご協力ありがとうございました。



令和4年度 安全就業標語入選作品

最優秀

めんどくさい 安全害う 危険な言葉!

第9A班 中村 雅巳

優秀

慣れと過信は事故の元 初心に戻って 安全作業

第15班 柴田 博夫

優秀

安全は 一人一人の 意識から

第15班 山本 英二

安全は、すべてに優先する

賛助会員のご紹介

山崎建設工業(株)千歳支店
 (株)カミノ
 千歳印刷(株)
 (株)山三ふじや
 (株)ホンダカーズ札幌中央
 (株)もりもと
 北海道空港(株)
 ホテルグランテラス千歳
 千歳建設業協会
 緑建工業(株)
 (有)松浦印刷
 中村三商(株)
 千歳市森林組合
 (株)ナスタ千歳工場
 (株)中央造園
 (株)大淵造園土木
 (株)協栄土建

(株)弘和建設工業
 近藤電設工業(株)
 中央運輸(株)
 スノウショップ(株)
 千歳石油(株)
 (株)三友石油
 (株)GMSトサカ
 (株)報業社
 リバーサイドゴルフセンター(株)
 (株)丹波組
 (株)光健印刷
 AWファーム千歳(株)
 岩倉商事(株)
 アイグステック(株)
 (株)黒沢電気
 (株)かなまる
 千歳市環境整備事業協同組合

札幌トヨタ自動車(株)千歳店
 リサイクルファクトリー(株)
 (株)日建企画
 千歳商工会議所
 (株)千歳国際ビジネス交流センター
 (社福)千歳市社会福祉協議会
 紫園
 海鮮亭 ととや
 共同配管工業(株)
 (株)フジプラ
 緑町診療所
 (株)荃津総業
 千歳建設(株)
 千翔建設(株)
 杉原商事(有)
 (株)メディアコム

編集後記

明けましておめでとうございます。

昨年は「シルバー千歳」をご愛読いただき編集委員一同厚く御礼申し上げます。

振り返りますと昨年はコロナ禍の波に翻弄される中、ロシアのウクライナ侵攻、北朝鮮のミサイル発射、さらには東京オリンピック・パラリンピックの汚職問題等暗いニュースばかりが目立つ一年でした。

その中でも昨年の暮れ日本で初のコロナ治療薬が承認されたことや、ワールドカップで日本がドイツ、スペインを撃破し日本中が歓喜に沸いたことなど明るいニュースがありました。今年こそはマスクのない笑顔が絶えない明るい世の中が来るとともに、ウクライナの人々にも平穏な日常生活が戻ってくることを心から祈っています。

またシルバー人材センターにおかれましても、今年は健康で笑顔溢れる会員がより一層増えることを期待しています。

編集委員 芳賀 章

編集委員長：二瓶 幸雄 副委員長：廣森 清茂 委員：齋藤 法子・芳賀 章・政岡 孝明